

令和元年度 指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	作州民芸館
(2) 指定管理者	所在地 津山市小田中1312-10 名称 城西まちづくり協議会 代表者 会長 高須 昌明
(3) 公の施設の所管部署	産業文化部歴史まちづくり推進室
(4) 指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日
(5) 評価対象期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	令和元年度実績	対 年度	令和 年度実績	対 年度	令和 年度実績
	来館者数 23,933人 貸館利用件数 179件	23,933人 179件	来館者数 人 貸館利用件数 件	人 件	来館者数 人 貸館利用件数 件
(2) 事業の内容	①開館業務 ②貸館業務 ③自主事業 【喫茶業務、販売業務、イベント関連業務（ハーブティー教室、納涼祭、ミニ歴史講座、まちプラ岡山、バイクン グ、ワークショップ、城西鑑めぐり等）】				

3 収支の状況

(1) 収 入 (指定管理者の収入)	令和元年度実績	対 年度	令和 年度実績	対 年度	令和 年度実績
	総 額 15,299千円	千円	総 額 千円	千円	総 額 千円
内 訳	内 訳		内 訳		内 訳
指定管理料	2,211千円	千円	千円	千円	千円
利用料金	183千円	千円	千円	千円	千円
自主事業	12,651千円	千円	千円	千円	千円
雑収入	254千円	千円	千円	千円	千円
(2) 支 出 (指定管理者の支出)	令和元年度実績	対 年度	令和 年度実績	対 年度	令和 年度実績
	総 額 15,252千円	千円	総 額 千円	千円	総 額 千円
内 訳	内 訳		内 訳		内 訳
人件費	3,638千円	千円	千円	千円	千円
消耗費	511千円	千円	千円	千円	千円
光熱水費	868千円	千円	千円	千円	千円
通信費	57千円	千円	千円	千円	千円
警備委託	156千円	千円	千円	千円	千円
備品費	150千円	千円	千円	千円	千円
修繕費	278千円	千円			
消防点検費	4千円	千円			
保険料	4千円	千円			
会費	80千円	千円	千円	千円	千円
雑費	107千円	千円	千円	千円	千円
喫茶仕入	7,254千円	千円	千円	千円	千円
調理材料費	1,689千円	千円			
調理消耗品費	456千円	千円	千円	千円	千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等	毎月、城西まちづくり協議会の福祉部会定例会で現場や部員から意見を聴取し、見直しを重ねた。
(2) 指定管理者の自己評価	喫茶・飲食事業について、有機栽培コーヒーを安価に飲めるので利用者が増えており、特に高齢者の交流の場となっている。昼食用弁当は、野菜を多く使いバランスのとれた献立にしていることと、300円と買いやすい価格のため好評となり、利用者が多い。弁当を目的に来館し、ついでに他の商品を購入していただくことで売上げにつながっている。 販売事業について、地場野菜、卵、パン、菓子類等津山産商品が人気で来館者が市内広範囲に広がっている。 イベント事業について、無料のハルーンアート体験等を実施し、津山まちの駅城西の周知と集客を図った。 貸館利用について、貸館利用者に声をかけ、弁当や喫茶の利用につなげている。気持ちよく利用していただけるよう掃除を丁寧に行っている。 インフォメーション事業について、毎月の定例会でもてなしについて内部研修を実施し、地域を知っていただくために城西公民館で開催される「城西歴史講座」に参加するなど研修を重ね、これらの取組により御朱印帳の販売促進につなげている。 また、毎月スタッフ会議を行い、販売品やメニューの見直し、お客様の声をスタッフで共有するなど翌月の事業につなげるようにしている。 毎月出しているカレンダーが集客につながり、町内回覧後個別に取りに来られる方が多かった。
(3) 市の評価	指定管理者制度を導入した初年度であったが、自主事業である喫茶事業や販売事業等に積極的に取り組み、来館者数を前年度12,218人から約2倍に増加させ、収支も黒字にできたことから、施設運営について高く評価できる。 弁当や菓子類、地場野菜など利用者ニーズに沿った販売メニューの開発や丁寧な接客、積極的な広報活動等が来館者を増加させ、リピーター確保につながったと考えられ、研修によりスタッフのスキルアップを図り、課題を共有し、定期的に事業を見直していることも大いに評価できる。 次年度以降も地域の拠点として、自主事業や広報活動等に積極的に取り組み、知名度の向上や収益の増加に取り組んでほしい。